

## しが水環境ビジネス推進フォーラム(アジア分科会)で「湖南省洞庭湖流域水環境改善プロジェクト」の報告をしました

掲載日：2019年 3月22日

当財団が平成28年度からJICA草の根技術協力推進事業として取り組んでいる「湖南省洞庭湖流域水環境改善プロジェクト」も本年6月に終了することになります。

3月11日に開催された「しが水環境ビジネス推進フォーラム（アジア分科会）」で、これまでの成果と本プロジェクトを契機とした今後の水環境ビジネスの可能性について報告しました。

本プロジェクトは、湖南省農村部の生活污水・面源汚染に対する行政や関係機関の対応能力を向上し、住民の環境意識を高め、行政と住民が協働して環境保全対策を開始していくというソフト面の取り組みです。

一方、湖南省の農村部では集合住宅の建設が始まり、合併浄化槽が試験導入されています。今後、人々の環境意識や生活水準が向上すると、より高度な污水处理設備の導入も進み、日本の技術や製品に対するニーズも高まるものと期待されます。

本プロジェクトでは、日本の合併浄化槽や簡易水質分析器、環境配慮型農業等の「食の安全」など生活環境の改善につながる技術についても湖南省側に紹介しました。



しが水環境ビジネス推進フォーラムアジア分科会（水環境関連企業が参加）



湖南省益陽市三眼塘村で進む集合住宅の建設



試験的に導入された合併浄化槽



日本の簡易水質分析器を用いてモニタリング調査を実施